



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)

【 2013年度(H25)活動報告 】

《2013年度(H25)活動実績・2014年度(H26)活動計画》

2014年3月31日

(初版：2014年3月31日)

目次

I. 当会について	3
1. 設立趣旨書	4
2. 活動内容	5
3. 活動方針	5
4. 組織概要	6
5. 会員制度	6
6. ご寄付	6
7. 当会運営	7
II. 2013年度活動報告（平成25年度）	8
1. 福島の課題	8
2. 活動方針	8
3. 活動目的	9
4. 事業計画と実績（概要）	10
5. 役員・スタッフ	10
6. 事業実績	11
(1) 事業1（直接活動①）	11
(2) 事業1（直接活動②）	13
(3) 事業1（直接活動③（追加））	14
(4) 事業1（予算・実績合計）	15
(5) 事業2（県内支援①）	16
(6) 事業2（県内支援②）	17
(7) 事業2（県内支援③）	18
(8) 事業2（予算・実績合計）	18
(9) 情報発信	19
(10) その他活動・経費	20
7. 会計報告	21

8. 助成金・支援金・ご寄付	23
9. 総括	25
II. 2014年度活動報告（平成26年度）	26
1. 福島の課題	26
2. 活動方針	27
3. 活動目的	27
4. 全体事業計画（概要）	29
4. 役員・スタッフ	29
5. 事業詳細	30
(1) 事業1	30
(2) 事業2	31
(3) 事業3	32
(4) 事業4	33
(5) 事業5	34
(6) 事業6（その他活動、会の維持管理）	35
(7) 事業予算総計	36
6. 最後に	37
III. 補足資料	38
1. 活動の様子	38
2. 活動日程（計画）	39

I. 当会について

当会は、2011年5月より岩手県に3分の1、宮城県に3分の1、そして福島には個人で3分の1として福島応援の活動を進め、2011年10月より福島応援隊として有志の方の応援を頂き活動を一步前に進め、2012年1月11日に“kfop”を設立させて頂きました。

活動に当たっては、設立前の約半年、福島にボランティアバスを出すべく、事前準備を進めましたが、福島へバスをなかなか福島へ出して頂けない現実、ボランティアバスを出すことへの理解がなかなか得られない現実、活動に理解がなかなか得られない現実がありました。そんな環境の中で、バスは横浜の『シティアkses株式会社』様から出して頂きました。活動先はスタッフ含めて現地に赴き、受入れの調整をさせて頂きました。専門ボランティアでは無い為、力量が不足で行けないところもありました。

設立当初の2012年度の主な活動としては

①現地活動は、

- ・福島市の福島市社協募集の除染ボランティア（渡利地区、大波地区）。
- ・福島市の任意団体の復興応援活動（借上住宅・近隣にお住いの皆様に、応急仮設住宅に）。
- ・南相馬市の小高地区へ南相馬市鹿島区社協募集の屋外活動（山側、海側、街中）。
- ・南会津の大熊町さんでの子供さん達へのイベント支援活動。
- ・最終の福島12便は「花に願いを」さん、で活動させて頂くことが出来ました。

②県内活動（神奈川県内での活動）は

- ・神奈川県内に避難を余儀なくされている皆様へのお手伝い、避難されている方々の気持ちは私達には充分には分からないかも知れませんが、少しでも近づければ、との気持ちで。
- ・かながわ東日本大震災県内避難者支援ネットワークに協力し、弁護士よろず相談会。
- ・同、町別（浪江町、双葉町、富岡町、楡葉町、大熊町）交流会。
- ・同、また共催し「ふるさとコミュニティinかながわ」の県内全体の交流会。
など、活動及び協力が出来ました。

③当会の応援者は

2012年1月末時点で48名、2013年3月末に置いては167名（内会員は119名）と多くの方に応援を頂くことが出来ました。現時点で登録メンバは243名。

ご参加頂きました皆様、応援を頂きました皆様、寄付を頂きました皆様、支援金を頂きました皆様、そして私達を受入れて下さいました現地の皆様、交流会にお越し頂きました避難されています皆様（県外からもお越し頂きました）、同じく交流会にご協力を頂きました行政の皆様にご感謝いたします。また、継続をさせて頂いております。

ここに、かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop) を代表し、お礼申し上げます。

かながわ「福島応援」プロジェクト
代表 なべ（渡辺孝彦）

1. 設立趣旨書

(1) 趣 旨

2011年3月11日に地震と津波による被害を受けた東京電力第1原子力発電所では、全電源を喪失して原子炉の冷却が出来なくなり、大量の放射性物質放出を伴う重大な原子力事故に発展した。これにより浜通り地域を中心に、周辺地帯の住民は長期の避難と、福島県の住民へのいわれなき差別、いじめ、風評被害、観光の打撃と、今現在においても大きな苦難を強いられています。

かながわの「かながわ東日本大震災ボランティアステーション」では岩手県・宮城県に向けて活発な支援が続けられていますが、福島県への支援は今なお実現していません。また、福島県は今もなお復旧に至らず、復興にままならない状況下にあります。

その中、福島県に住んでいる方々、福島県から避難される方それぞれの方へ応援をして行きたい。神奈川県から「福島を応援する」その主旨で、かながわ「福島応援」プロジェクトを設立するものです。

(2) 活 動

①直接活動（除染ボランティア、仮設、子どもたち支援等をしていきたい）

②県内支援（神奈川県内、関東圏に避難されている方へのお手伝い）※1

③情報発信（福島県での活動、観光情報、温泉情報、特産物情報、など発信したい）

を行い、今までと同じように笑顔が溢れ、子どもたちも楽しく・のびのびと遊んでいる福島県になっていくことを願い活動を展開し、また、神奈川県から応援の輪を広げるために、多くの方の参加者を募り活動して行きたい。

※1：②の県内支援活動は設立当初はなく、私達は現地福島に直接行きお手伝いする、神奈川県内に避難されている方のことは神奈川県に住む方で応援してほしい。その思いでありましたが、県内での応援もまだまだ十分ではなく、必要、と感じ活動を追加したものです。

(3) 経 緯

①2011.10.11 k s v n※2ボランティア活動と平行して活動を開始（発起）

②2011.10.29 k s v n ボラバスメンバー参加により福島市除染ボランティア参加

③2011.12.28 スタッフ含めた参加者の募集、本格設立へ行動（36人が賛同）

④2012.01.09 初会合（賛同出席者16名）

⑤2012.01.11 設立日とする。

※2：k s v nとは「かながわ東日本大震災ボランティアステーション」のこと。

かながわ「福島応援」プロジェクト
設立代表 渡辺 孝彦

2. 活動内容

かながわから福島を応援します。

任意団体として、情報発信、直接活動と出来ることを少しずつでも進めます。

- ・直接活動（除染ボラ、仮設で、学校の子供たちへ、赤ちゃんへ、妊婦さんへ）
- ・県内活動（神奈川県に避難されている方へのお手伝い）
- ・情報発信（福島での活動、観光、温泉、食べ物、なんでも、情報を発信します）

そして、今までと同じ様に笑顔が溢れ、子供たちも楽しく・伸び伸びと遊んでいる福島になることを願います。

さらに、かながわから支援の輪が広がり、多くの方に福島を訪れて頂けることを願います。

3. 活動方針

(1) 当会は、粛々と活動を行っております。

何が無くても福島に行く、その心づもりが基本となります。

- ・福島への復旧・復興を願う。
- ・福島への観光・温泉・果物・農産物などの応援をする。
- ・福島の子どもさんたち、避難を余儀なくされている皆さんに少しでも応援になることをする（重きを置くこと）。

(2) 福島への活動においては、ご家族の理解も得て行う。

(3) また、スタッフ、参加者ともに無理はしない

- ・出来ることを
- ・出来るときに
- ・出来る範囲で

(4) 活動の全て（設立趣旨、会計、ご寄付、活動内容など全て）は、当会のHPにて公開する。（HPを見て頂ければ分かる）

長く福島への応援を続けることが出来るためにも。

4. 組織概要

	会議体	目的
(1)	総会	総会は年1回開催。 役員・正会員にて、活動報告、活動計画などの運営を決議する。
(2)	定例会	定例会は都度開催。開催日は定例会で決め議事録とする。
(3)	臨時総会 臨時定例会	臨時総会、臨時定例会は役員が必要と認めたとき、代表が招集する。

※全てにおいて、一般会員、賛助会員、その他登録会員の参加を妨げない。

5. 会員制度

	会員項目	役割	年会費
(1)	正会員	会費を入会時または年1回納入しなければならない。 正会員より総会にて役員を選出する。	1,000円/1口以上
(2)	一般会員	正会員以外で本会の活動を支援する会員とする。	なし
(3)	賛助会員	財政支援の個人・団体の会員とする。 会費を入会時または年1回納入しなければならない。	1,000円/1口以上

※当会のMLに登録させて頂き、情報を発信させて頂きます。

6. ご寄付

ご寄付専用口座を持ち、HP掲載にて広く一般からの寄付（寄付・支援金・助成金）を受け入れる。

ご寄付・支援金・助成金は、同じくHPに掲載させて頂き、その用途も会計のHPに全て掲載して行く。

7. 当会運営

(1) 定例会・管理事項等

定期開催	神奈川県民サポートセンター	11F 会議室など
議事録	管理担当で議事録作成・管理	電子ファイルで保管
会計監査	上下期締めで内部会計監査実施	
寄付・寄贈	HPですべて掲載	ご寄付のページ
会計	HPですべて掲載	会計報告のページ

(2) 安全対策など

ボランティア保険	活動参加者の加入を確認	参加申し込み時
行事保険	行事実施時に加入	花見山公園観光など
活動マニュアル	活動場所毎に作成	電子ファイルで保管
行程表	活動・バス行程表を都度作成	電子ファイルで保管
仮眠所	バス運転手仮眠所確保	福島トラックセンター

(3) 教育関係 (自主受講済事項)

環境省 水・大気環境局除染等業務に係る特別教育	渡辺孝彦、戸沢正弘、村上幸	ボランティア活動知識
除染等業務作業指揮者教育	戸沢正弘、村上幸	ボランティア活動知識
労働安全衛生法による安全衛生教育 (刈払機)	渡辺孝彦、戸沢正弘、東尚子 村上幸	ボランティア活動知識
労働安全衛生法による特別教育 (伐木：チェーンソー)	渡辺孝彦、戸沢正弘、村上幸	ボランティア活動知識
赤十字救急法 救急員	戸沢正弘、東尚子、村上幸	ボランティア活動知識
横浜市消防局 普通救命講習	山下圭子	ボランティア活動知識
労働安全衛生法による特別教育修了 (小型車両系)	村上幸 (2014. 5. 25 追加)	ボランティア活動知識

(4) 保有備品 (個人保有を除く)

TERRA-P	4台 (購入) (活動時の計測管理)	参加者用
TERRA-N	6台 (購入) (活動時の計測管理)	参加者用
メディキタスCK-6	9台 (寄贈) (活動時の積算管理)	参加者用

Ⅱ. 2013年度活動報告(平成25年度)

1. 福島の問題

東日本大震災から2年、福島の復旧・復興はまだまだこれからである。現地福島におけるニーズは様々あるが、以下の3つの課題に取り組む。

(1) 福島で生活されている方々の環境課題

福島で果敢に生活をされている方がいる、その中で放射能への不安を抱えた環境が多くある、子供さん達が通う通学路などにも多くの“ホットスポット”が点在する。現地にその“ホットスポット”を少しでもなくす活動をされている任意団体がある。活動は、地元の子供を持つ母親からの“助けて”の声によるものと伺った。福島の復旧・復興、そこで生活されている方々へ関東に住む私達、電力を享受した私達として、すべき課題の一つであり、当会の活動の柱とする一つの課題である。

(2) 警戒区域の見直しへの課題

福島第一原子力発電所から20キロメートル圏内にある南相馬市小高区では、原発事故直後から住民の立ち入りが制限され、2013年4月に避難区域の見直しにより立ち入りの制限が解除となります。家屋内外の復旧の新たなニーズが発生する。継続的な課題と捉える。

(3) 県内・県外への避難を余儀なくされている方々の環境課題

神奈川県にも福島から多くの方々が避難を余儀なくされている、孤独に陥ることなく、また、避難されている方々の主体的なコミュニティ作り（人と人、人と町）が、今後に向けて必要と考える。継続される大きな課題ととらえる。

2. 活動方針

私達はボランティアである。

- ・活動できる場所であることの判断（安全判断）
 - ・活動する上で必要とする知識（安全知識）
 - ・活動する上での現地受け入れ団体の長との情報交換（安全の担保）
- を行い、活動を進める。

3. 活動目的

(1) 福島で生活されている方々の環境課題へ (直接活動①)

現地活動団体の受入に参加し

- ①神奈川から（含む関東圏内の参加者）その環境の改善へ少しでもお手伝いをする。
- ②参加者が参加することにより福島の今を知って頂く。
- ③帰路、福島の名産の買い物を通して福島の復興の応援。
- ④夕食に福島駅東口の「かーちゃんふるさと農園わいわい（一般社団法人ふくしまかーちゃんのカネネットワーク）」の弁当を購入して応援など。
- ⑤4月は登録会員限定で福島市の花見山公園への花見を行い、観光応援もする。

(2) 警戒区域の見直しへの課題へ (直接活動②)

(1)の活動を当会の柱としているが、現地状況、ニーズを確認し、参加者の声も確認し判断をして行く。

(3) 県内・県外への避難を余儀なくされている方々の環境課題へ (県内支援)

当会は、現地福島に行き、直接福島で応援することを主体とした活動であるが、神奈川県内にも多くの方が避難されている。当会のマンパワーとしての体力もあり、本課題は「かながわ避難者と共にあゆむ会」の活動を通して県内支援活動を進める。
(一部、共催・協力として活動資金を拠出し進める)

(4) 情報発信 (情報発信)

当会の活動を通してHPにて、福島の情報発信する。

4. 事業計画と実績 (概要)

事業		計画	実績
事業 1	直接活動① (花に願いを)	毎月 1 回福島にボランティアバス。 5 月便より 11 回 (11 便)。	11 便実施 (内 3 便は台風、雪で中止)
	直接活動② (沿岸部)	沿岸部においては、現地ニーズを確認し都度検討して行く。	8 便実施 (内 1 便は天候より中止)
	直接活動③ (水害支援)	(計画外) 西伊豆水害支援	2 便実施 (内 1 便は雨天中止)
	直接活動④ (植樹支援)	(計画外) 植樹支援 (南相馬)	1 便実施 (調整により中止)
事業 2	県内支援① (交流会)	毎月 1 回 交流会 11 回 (含むクリスマス会)	11 回実施
	県内支援② (交流会)	神奈川県内避難者交流会、年 2 回	2 回実施
	県内支援③ (現地交流会)	ふるさとバス (福島の現地仮設などとの交流)	3 箇所/往復 2 便
事業 3	情報発信	都度活動情報をHPで発信する。	都度
その他	その他活動	現地訪問 (複数回訪問有り)	30 箇所訪問
		福島の食と地酒を楽しむ会	1 回
		セミナーなど参加	2 回

5. 役員・スタッフ

役割	区分	氏名	担当役割
代表	役員	渡辺 孝彦	兼務 (会計、渉外)
情報	役員	村上 幸	情報収集
バス統括	役員	戸沢 正弘	バス運営
事務	役員	山下 圭子	事務管理 (参加者名簿、座席表など)
広報	役員	東 尚子	兼務 (県内支援担当)
相談役	役員	山内 淳、御園生 芳行	相談事項
県内支援	スタッフ	17 名	県内支援協力
除染担当	スタッフ	2 名	除染ボラ調整
バス担当	スタッフ	6 名	バス運行

6. 事業実績

(1) 事業1 (直接活動①)

①現地課題

福島で生活されている方々の環境課題
 行政の届かない通学路などにホットスポットが点在する。

②活動結果

当会が参加以前より、地元の福島復興プロジェクトチーム「花に願いを」さん（主催任意団体）、の活動により

- ・地元の市民の意識にも変化があり自治会なども自主的な活動に前向きになられた。
- ・市民の方より、“お疲れ様、ありがとう”などのお声掛けが聞かれるようになった。
- ・市民の方々が自らホットスポットの除去作業を計画されるようになった。

参加者も、福島の現況（街中は至って普通、なれどホットスポットもある）を知り
 その中で果敢に生活されている福島の方々の存在を知るきっかけにもなった。
 活動の帰路に置いては、福島の名産なども購入し復興応援を行う。

③事業実績

計画	計画		実績	実績	
	便<活動場所>	参加者数		便<活動場所>	参加者数
4月	福島13便<福島市>	20	2013.04.20	花見山公園便	23
5月	計画外	計画外	2013.05.03	スタッフ便	3
5月	福島14便<福島市>	20	2013.05.18	同左	22
6月	福島15便<福島市>	20	2013.06.22	同左	22
7月	福島16便<福島市>	20	2013.07.20	同左	21
8月	福島17便<福島市>	20	2013.08.24	同左	18
9月	福島18便<福島市>	20	2013.09.15	同左	19
10月	福島19便<福島市>	20	2013.10.26	現地活動なし	-
11月	福島20便<福島市>	20	2013.11.16	同左	20
12月	福島21便<福島市>	20	2013.12.14	宿泊便	6
1月	冬季活動せず(調整)	20			
2月	福島22便<福島市>	20	2014.02.15	大雪中止	16
3月	福島23便<福島市>	20	2014.03.15	活動中止	-
計画回数		12回	実績回数		10回
計画者数		240人	実績者数		170人

※実績は天候、現地受け入れ状況によるもの

④参加者の声

- ・宿泊でもっと長く活動に参加したい。
- ・気の遠くなるような地道な活動。
- ・市民の方より声を掛けて頂く機会が増えた、とても嬉しかった。
- ・複雑な福島環境、復旧・復興、福島を応援したい。

⑤地元の声

- ・受け入れて頂いた「花に願いを」さん、自体も被災者（私達も被災者なんですよ）
- ・地元のお母さんからの「助けて」の叫び、それを受け活動を開始した。
- ・ありがとう、お疲れ様、のお声掛け。などなど

⑥予算実績（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
参加費	1,579,500	923,000	バス費用	1,760,240	1,032,586
支援金 ^{※3}	110,000	90,000	レンタカー	121,000	
助成金 ^{※4}	0	10,000	—	0	0
寄付金 ^{※5}	100,000	9,000	—	0	0
前年繰越	91,740	586	—	0	0
合計	1,881,240	1,032,586	合計	1,881,240	1,032,586

※3：リコー社会貢献クラブ Free Will 様 支援金（以下同様）

※4：一般財団法人 神奈川県建築安全協会様 助成金（以下同様）

※5：富士ゼロックス神奈川株式会社 端数倶楽部 様 ご寄付（以下同様）

⑦総括

活動は地道であるが

【復旧応援】活動により子供さん達などが通う道を少しではあるが改善へのお手伝いが出来たのではと思う。（判断は現地の皆さん）

【復興応援】福島市内での買い物、安達太良SAでの買い物、飯坂温泉での日帰り湯花見山の花見、夕食に福島駅東口の「かーちゃんふるさと農園わいわい（一般社団法人ふくしまかーちゃんの力ネットワーク）」の弁当を購入し応援などが出来た。

【参加者】福島に初めて来られた方も多く、復旧・復興への応援、福島の今を知って頂いた。

(2) 事業1 (直接活動②)

①現地課題

立ち入り制限の解除により、長期間住むことが出来なかった家屋内の片づけ、復興に向けた屋外の片づけなどのニーズが多くなる。

東日本大震災から2年、復旧は終わり、復興への一般の情報より、ボランティアの数も縮小傾向にある。また、福島に足を向けてくれる方がまだまだ少ない。情報も少ない。

②活動結果

期初に置いては、現地のニーズを確認することから始まり、現地社協の訪問も行いニーズ確認にて、現地活動を組み入れ、ボランティアバスでの活動とした。

全体、8回の計画を追加し、5回実施となった。冬季・天候の影響もあったが、次年度活動へとつなげることが出来た。

③事業実績

計画	計画		実績	実績	
	便<活動先>	参加者数		便<活動先>	参加者数
9月	福特 2便<南相馬>	計画外	2013.09.07	同左	18
	福特 3便<南相馬>	計画外	2013.09.28	同左	20
10月	福特 4便<南相馬>	計画外	2013.10.06	植樹便、中止	-
10月	福特 5便<南相馬>	計画外	2013.10.26	台風中止	-
11月	福特 6便<南相馬>	計画外	2013.11.30	活動なし、欠便	-
2月	活動 福特 7便	計画外	2014.02.22	同左	19
3月	福特 9便<南相馬>	計画外	2014.03.15	同左	22
	福特 8便<南相馬>	計画外	2014.03.21	同左	20
計画回数		0回	実績回数		5回
計画者数		0人	実績者数		99人

※実績は天候、現地受け入れ状況によるもの

④参加者の声

- ・ 定時まで活動をさせて頂きたい。
- ・ 宿泊での活動をさせて頂きたい。
- ・ 中型バスなので活動が良い
- ・ 地元の方の話を聞きたい
- ・ 2年経っても変わっていない、現地に来て・見て初めて知ることが多い。
- ・ 少しでも地元の方のお手伝いが出来た。続けたい。

⑤地元の声

- ・地元の者で復旧・復興を進めているが、まだまだ人出が足りない。
- ・地元の復興へ力を貸してほしい。
- ・ありがとうの声（活動後に）

⑥予算実績（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
参加費	0	587,500	バス費用	0	719,672
支援金 ^{※3}	0	10,000	レンタカー		
助成金 ^{※4}	100,000	58,460	浜通り活動	100,000	
寄付金 ^{※5}	0	51,000	—	0	0
前年繰越	0	12,712	—	0	0
合計	100,000	719,672	合計	100,000	719,672

⑦総括

【復旧応援】2月、3月の活動では、大事なお雛様も処分、家の中の全てを処分、家の中には小動物が入り込み、凄まじいあり様、丁寧に片づけをさせて頂いた。まだまだこのようなお宅は沢山あると感じた。

【復興応援】道の駅南相馬にて、安達太良SAにて、名産の買い物で応援

【参加者】福島に初めて来られた方も多く、今なお変わらぬ様子に驚きを隠せない参加者も多くあった。福島の今を知って頂いた。

(3) 事業1（直接活動③（追加））

①現地課題

西伊豆町社会福祉協議会では、平成25年度7月17～18日の大雨被害に対して、西伊豆町災害ボランティア本部を設置し、被災地域の復旧・復興に向け活動。
 （東北を応援して頂いた静岡県の皆さんの為に）

②活動結果

災害ボランティア活動の一環として、一回ではあったが、現地活動を行えた。
 今後も、福島応援を中心とし、かつ可能な範囲での災害活動も進める。

③事業実績

計画	計画		実績	実績	
	便<活動先>	参加者数		便<活動先>	参加者数
7月	西伊豆0便<西伊豆>	計画外	2013.07.24	雨天中止	-
	西伊豆1便<西伊豆>	計画外	2013.07.28	同左	20
	計画回数	0回		実績回数	1回
	計画者数	0人		実績者数	20人

※実績は天候、現地受け入れ状況によるもの

④参加者の声

- ・必要とするところの災害ニーズへ協力が行えた。

⑤地元の声

- ・夏休みの間に復旧が出来、一日も早く子供たちが通えると良い。

⑥予算実績 (単位：円)

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
参加費	0	80,000	バス費用	0	94,060
前年繰越	0	14,060	—	0	0
合計	0	94,060	合計	0	94,060

⑦総括

今回のバスには、kfop、かながわ311ネットワークさん、チームかながわSUNさん、ksvnさん、横須賀災ボラさん、個人ボラ、などに参加の皆さん、多くの神奈川の皆さん、東京の方・千葉の方も、多くのボランティアの繋がりで応援が出来た。

(4) 事業1 (予算・実績合計)

(単位：円)

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
参加費	1,579,500	1,590,500	バス費用	1,760,240	1,846,318
支援金 ^{※3}	110,000	100,000	レンタカー	121,000	
助成金 ^{※4}	100,000	68,460	浜通り活動	100,000	
寄付金 ^{※5}	50,000	60,000	—	0	0
前年繰越	141,740	27,358	—	0	0
合計	1,981,240	1,846,318	合計	1,981,240	1,846,318

(5) 事業2 (県内支援①)

①避難者の課題

先が見えない、生活されていた環境による違い、個人情報により何処に誰がいるかわからない、知らない地での生活。それぞれの方一人一人が違った課題を持つ。

②活動結果

人と人、人と町のコミュニティ作りへと、集える場の提供は少しではあるが出来たしかしながら、多くの課題はまだまだ続く。

③事業実績

計画	計画		実績	実績	
	交流会			交流会	参加者数
7月	あづまっぺお茶っこ会		2013.07.27	同左	15
8月	浪江町民交流懇談会		2013.08.24	同左	30
9月	ランチ・お茶っこ会		2013.09.28	同左	8
9月	大熊町民交流懇談会		2013.09.21	同左	13
10月	双葉町民交流懇談会		2013.10.26	同左	7
11月	ランチ・お茶っこ会		2013.11.09	同左	2
11月	富岡町民交流懇談会		2013.11.23	同左	約20
12月	クリスマス会 2013		2013.12.14	同左	約20
12月	ランチ・お茶っこ会		2013.12.07	同左	3
1月	南相馬市民交流懇談会		2014.01.25	同左	約20
2月	ランチ・お茶っこ会		2014.02.22	同左	5
計画回数		11回	実績回数		11回
計画者数		-人	実績者数 (概数)		138人

※本活動は「かながわ避難者と共にあゆむ会」が主催、当会は、協力・共催。

⑥予算実績 (単位：円)

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
支援金 ^{※3}	50,000	40,000	交流会費	55,000	40,000
助成金 ^{※4}	0	0	(あゆむ会活動に拠出)		
前年繰越	5,000	0	—	0	0
合計	55,000	40,000	合計	55,000	40,000

(6) 事業2 (県内支援②)

①避難者の課題

先が見えない、生活されていた環境による違い、個人情報により何処に誰がいるかわからない、知らない地での生活。それぞれの方一人一人が違った課題を持つ。

②活動結果

人と人、人と町のコミュニティ作りへと、集える場の提供は少しではあるが出来たししかしながら、多くの課題はまだまだ続く。

③事業実績

計画	計画 交流会	実績	実績	
			交流会	参加者数
9月	第3回ふるさとコミュニティ in かながわ ^{※6}	2013.09.14	同左	69
3月	第4回ふるさとコミュニティ in かながわ ^{※6}	2014.03.08	同左	71
計画回数		2回	実績回数	
計画者数		120人	実績者数 (概数)	
				2回
				140人

※6：以降省略時は「ふるコミ^{※6}」と表記

※本活動は「かながわ避難者と共にあゆむ会」が主催、当会は、協力・共催。

⑥予算実績 (単位：円)

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
支援金 ^{※3}	140,000	140,000	交流会費	480,000	520,000
助成金 ^{※4}	140,000	140,000	(kfop 共催 (安協様))		140,000
助成金 ^{※4}	200,000	200,000	(安全協会様協賛金)		200,000
寄付金 ^{※5}	0	40,000	(リコー様協賛金)		140,000
会費	0	0	(富士ゼロックス様協賛金)		40,000
一般寄付	0	0	—	0	0
合計	480,000	520,000	合計	480,000	520,000

(7) 事業2 (県内支援③)

①現地課題

一時帰宅をするにも、母子避難者、ご年配の方など交通手段の面で負担がある

②活動結果

今年度は試行的に実施、母子避難者の方、ご年配の方などより、また乗りたいの声あり

③事業実績

計画	計画 交流会		実績	実績	
				交流会	参加者数
12月	2便 (12/21-22 郡山/福島行き)		2013.12.21	同左	約10
	3便 (12/28-29 いわき行き)		2013.12.28	同左	約10
	計画回数	2回	実績回数		2回
	計画者数	40人	実績者数 (概数)		20人

※本活動は「かながわ避難者と共にあゆむ会」が主催、当会は、協力・共催。

⑥予算実績 (単位：円)

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
助成金 ^{※4}	0	20,000	ふるさとバス	0	20,000
			(あゆむ会へ拠出)		
合計	0	20,000	合計	0	20,000

(8) 事業2 (予算・実績合計)

(単位：円)

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
支援金 ^{※3}	190,000	180,000	ふるコミ ^{※6}	480,000	520,000
助成金 ^{※4}	140,000	160,000	交流会	55,000	40,000
助成金 ^{※4}	200,000	200,000	ふるさとバス	0	20,000
寄付金 ^{※5}	0	40,000	—	0	0
前年繰越	5,000	0	—	0	0
合計	535,000	580,000	合計	535,000	580,000

(9) 情報発信

①現地課題

福島のことを伝える、活動の情報発信のより伝える。

②活動結果

十分とは言えないが、活動報告を掲載し、情報発信に努めた。

③事業実績

計画	計画 情報発信	実績	実績	
			情報発信	回数
都度	活動履歴掲載	都度	同左	126
都度	ご寄付掲載	都度	110人+3企業	113
都度	会計報告掲載	都度	会費口+寄付3	4
都度	ボランティア募集掲載	都度	同左	21
都度	活動の様子掲載	都度	同左	20
都度	県内支援様子	都度	同左	7
都度	情報発信	都度	同左	1
都度	福島を伝える	都度	同左	9

※実績は天候、現地受け入れ状況によるもの

④本活動は予算はなし

(10) その他活動・経費

①事業実績

計画	計画 情報発信	実績	実績	
			情報発信	回数
都度	福島視察・訪問	都度	同左	30
都度	機材購入	都度	同左	1
都度	維持管理	都度	同左	-

②予算実績 (単位：円)

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
支援金 ^{※3}	0	20,000	福島視察・訪問	178,120	93,575
助成金 ^{※4}	60,000	71,540	機材購入	135,000	182,400
寄付金 ^{※5}	0	0	他団体賛助金等	0	20,262
会費	74,000	81,000	ピンバッジ調製	0	61,480
一般寄付	50,000	472,571	チラシ作製	0	2,780
利息	0	16	ビブス調整	0	38,472
預り金	0	117,300	維持費	50,000	52,338
前年繰越	179,120	243,502	次年度繰越	0	554,622
合計	363,120	1,005,929	合計	363,120	1,005,929

(補足1)：福島視察・訪問

地元の市・町・社協・支援団体との情報交換

(補足2)：機材購入

福島市での街中掃除（ホットスポット）活動で必要とする線量計の購入

(補足3)：他団体賛助金

福島の活動団体、神奈川での活動団体など情報交換を含めて賛助会員へ登録

(補足4)：ピンバッジ調製

一般からのご寄付への僅かなお礼としてピンバッジを調整し返礼を行った。

(補足5)：ビブス調達

南相馬での活動は平成26年も計画する、今までは借り物で活動をしていたが調達した。

(補足5)：次年度繰越

内117,300円は、次年度4月便の参加費の預かり分である。

7. 会計報告

(1) 総予算・実績計

(単位：円)

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
前年繰越	275,860	270,860			
福島便参加費	1,579,500	923,000	バス費用	1,760,240	1,846,318
福特便参加費	0	587,500	レンタカー費用	121,000	
伊豆便参加費	0	80,000	浜通り支援費	100,000	
会費	74,000	81,000	交流会費	55,000	60,000
一般寄付金	50,000	236,919	ふるコミ ^{※6}	480,000	520,000
バッジ寄付金	0	235,580	視察費・訪問	178,120	93,575
支援金 ^{※3}	300,000	300,000	維持管理費	50,000	52,338
助成金 ^{※4}	500,000	500,000	線量計購入費	135,000	182,400
寄付金 ^{※5}	100,000	100,000	他団体賛助金等	0	20,262
受取利息1	0	16	ピンバッジ調製	0	61,480
受取利息2	0	72	チラシ作製	0	2,780
預り金	0	117,300	ビブス調整	0	38,472
収入計	2,879,360	3,432,319	支出計		2,877,625
			預り金	0	117,300
			次年度繰越	0	437,322
合計	2,879,360	3,432,247	合計	2,879,360	3,432,247

(補足1)：福島便：花に願いを活動、4月は花見山公園の花見便

(補足2)：福特便：南相馬市小高区での活動便

(補足3)：バッジ寄付金：次年度活動へご寄付を募りピンバッジを返礼とさせて頂いた。

(口座別収支)

口座区分	収入計	支出計	収支
会費口	¥1,841,868-	¥1,685,039-	¥156,829-
寄付口	¥1,590,379-	¥1,192,586-	¥397,793-
総実績	¥3,432,247-	¥2,877,625-	¥554,622-

※会費口、総実績の収入計・収支の内117,300円は次年度4月便参加費の事前預り分。

(口座別残高)

口座区分	基準日付	通帳残高	合計
会費口	2014.3.31	¥156,829-	¥554,622-
寄付口	2014.3.31	¥397,793-	

(2) 支援金 (リコー社会貢献クラブ・Free・Will 様) 用途 ※3

(単位：円)

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
2013年4月	300,000	300,000	福島バス	110,000	90,000
			福特バス	0	10,000
			ふるコミ※6	140,000	140,000
			交流会	50,000	40,000
			現地訪問費	0	20,000
合計	300,000	300,000	合計	300,000	300,000

(3) 助成金 (一般財団法人 神奈川県建築安全協会 様) 用途 ※4

(単位：円)

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
2013年8月	200,000	500,000	ふるコミ※6	140,000	140,000
2013年8月	300,000		ふるコミ※6	200,000	200,000
			浜通り支援	100,000	67,260
			機材購入	60,000	60,000
			ふるさとバス		20,000
			福島バス		10,000
			現地訪問費	0	2,740
合計	500,000	500,000	合計	500,000	500,000

(4) 寄付 (富士ゼロックス神奈川株式会社 端数倶楽部 様) 用途 ※5

(単位：円)

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
2013年8月	100,000	100,000	福特バス	100,000	60,000
			ふるコミ※6	0	40,000
合計	100,000	100,000	合計	100,000	100,000

ふるコミ※6 : 第3回ふるさとコミュニティ in かながわ
 第4回ふるさとコミュニティ in かながわ

8. 助成金・支援金・ご寄付

(1) ご寄付を頂きました方々 (順不同、複数回ご寄付は重複掲載、お名前のみ)

ヤマモト クニイサ	コスギ シゲジ 様	トクメイ 様	ウチウミ ヒデオ 様
ムラカミ サチ	イケガミ マサユキ 様	イケダ マナブ 様	ナガサキ ヨウコ 様
トザワ 様	ヨシモト マサヒコ 様	ヤマシタ キヨシ 様	テラタニ ヒロアキ 様
kfop ユウシ 様	サクライ ノリコ 様	ヤマシタ ケイコ 様	ハンガイ オサム 様
カマタ リュウイチ 様	ナガミネ ナオミ 様	ニシノ ヒロタカ 様	オオワダ エイチ 様
MSDL クミアイ 様	ヨシカワ ジュン 様	エビコ ノリエ 様	オリカサ ケン 様
オネエサン 様	イワサキ マスミ 様	AK 様	コワタ ヨウコ 様
イワサキ タクミ 様	ハラセ マサヒサ 様	スズキ ヒフミ 様	タカハシ リエコ 様
シダ タカコ 様	スズキ タダシ 様	スズキ ミユキ 様	カマタ リュウイチ 様
オカモト ジュンコ 様	ミソノウ ヨシユキ 様	スズキ コウジ 様	マツノ モトシ 様
シライシ ミホ 様	イケダ マナブ 様	ヨシモト マサヒコ 様	オオワダ エイチ 様
ワタナベ 様	ヤジマ クニキ 様	ドイ タカアキ 様	タカハシ ミキ 様
ナカオ ユミコ 様	スズキ&トザワ 様	コスギ シゲジ 様	ババ タケシ 様
ナガミネ ナオミ 様	ナイトウ キョウコ 様	トザワ 様	キサイチ シンジ 様
スズキユキエ 様	ヤマウチ ジュン 様	コムラ セイチ 様	カマタ リュウイチ 様
タチバナテルユキ 様	カネコ カズオミ 様	ナツイ チカコ 様	アライ オサム 様
kfop ユウシ 様	アラキ ケンジ 様	イケガミ マサユキ 様	スガノ マサノリ 様
ミソノウ ヨシユキ 様	カネコ ミヨコ 様	大地に麦を突らす会 様	アイカワ カズヨ 様
スズキ&トザワ 様	トモツネ アキラ 様	ハラセ マサヒサ 様	ナガミネ ナオミ 様
ナイトウ キョウコ 様	セガワ マサシ 様	サカモト ミナ 様	セキネ トモオ 様
スガノ マサノリ 様	イケガミ マサユキ 様	kfop ユウシ 様	ヨシカワ メグミ 様
ナガサキ ヨウコ 様	ヨシカワ ジュン 様	ヤマシタ ケイコ 様	コワタ ヨウコ 様
タナカ サチコ 様	テラシマ マサアキ 様	タニモト ケイコ 様	ミソノウ ヨシユキ 様
ワタナベ アキコ 様	ヨシモト マサヒコ 様	トクメイ 様	
フジカワシンイチロウ 様	タカハシ リエコ 様	タナカ サチコ 様	
ワタナベ アキコ 様	マツノ モトシ 様	カイ マサヒロ 様	
ヒラマツ ケイコ 様	ハラセ マサヒサ 様	チームぽかぽか Arearea 様	
キタダ ミヨコ 様	イワサキ マスミ 様	スズキ ユキエ 様	
ツカゴシ ユウジ 様	ミソノウ ヨシユキ 様	ナイトウ キョウコ 様	
ねこじゃらし工房 様	タムラ タケシ 様	カネコ マサヨ 様	

以上 113 名の皆様、ありがとうございました。

(2) 支援金を頂きました方

リコー社会貢献クラブ・FreeWill 様

URL : <http://www.ricoh.com/ja/kouken/freeWill/>

(3) 助成金を頂きました方

一般財団法人 神奈川県建築安全協会 様

URL : <http://www.kak.or.jp/>

(4) ご寄付を頂きました方

富士ゼロックス神奈川株式会社 端数倶楽部 様

URL : <http://www.fujixerox.co.jp/company/social/volunteer/club.html>

(5) バス運行を頂きました方

シティアクセス株式会社 様

URL : <http://www.cityaccess.co.jp/>

皆様の福島への温かいご支援に感謝いたします。
ありがとうございました。

9. 総 括

当会の活動は、現地の福島に行き活動をするを大きな柱としている。平成 25 年度 (2013 年度) の活動では、福島便は 11 便を計画、内 3 便は天候などの都合で活動は中止となったが 8 便を実施出来た。また、南相馬便も期初での計画は検討であったが、現地に足を運びニーズを確認し、参加者・スタッフの声も確認し、8 便を追加計画、内 1 便は天候により中止。総数 14 便で福島の応援が出来た。

福島便・南相馬便ともに福島を訪ねる事すら初めての参加者も多く、福島の現地で直接お手伝いをさせて頂くとともに、福島の今を知って頂くことも出来た、福島の温泉、福島の物産、福島の方の話、福島の風景、福島が置かれた厳しい現実も知って頂くことが出来たと思う。

現地の皆さんへの少しでものお手伝い、そして福島を知る、福島を知って福島を伝える、現地のニーズへの直接の活動と合わせて、参加者が直接見て感じたことは、とても大切な意味があることと思う。現地に行ってみないと分からないことは多くある。

また、震災とは違うが、西伊豆での水害に置いて、1 便ではあるが、お手伝いもさせて頂いた。東日本大震災でお世話になった多くの福島県外の方々、当会も災害ボランティアの任意団体の一つである。静岡県の方々への僅かなお手伝いですが、それが今回の震災で得た繋がりでしょう。今後も多くのことは出来ませんが、必要とされる場所へお手伝いを進めたい。

神奈川県内においては、福島県内で避難されているの方々同様な借り上げ住宅にお住いの環境、同じく先の見えない不安の日々が続いています。私達に何が出来る訳でもありませんが、少しでもお手伝いをさせて頂くことがあれば、避難を余儀なくされています皆様が集える場、コミュニティを作れる場、避難されている方同士の集まれる場、避難されている方と町の方と集える場、今後とも必要と思っております。避難元の町・市・社協さんにも出向き、情報の交換、交流会へのご参加のご案内もさせて頂き。コミュニティ形成のお手伝いが出来ればと思っております。県内支援活動は「かながわ避難者と共にあゆむ会」とともに継続をして行きます。

最後に、平成 25 年 4 月 20 日に南相馬市社会福祉協議会様より感謝状を頂戴しました。平成 26 年 3 月 5 日に福島県社会福祉協議会様より感謝状を頂戴しました。現地福島と神奈川が繋がり、一人でも多くの皆様と相互に支援出来ることが当会、かながわ「福島応援」プロジェクトの想いの一つでもあります。神奈川から福島を応援する。

今後も続けて参ります。一人でも多くの皆様のご支援・ご協力が今後とも望まれます。福島の応援。よろしく申し上げます。

かながわ「福島応援」プロジェクト 代表 渡辺孝彦、スタッフ一同。

II. 2014 年度活動報告(平成 26 年度)

1. 福島の課題

2014 年は東日本大震災から 3 年、今なお、福島の復旧・復興はまだまだこれからである。復興・復興ではあるが、変わらぬ現実がある。

支援に 3 年目を区切りとする動きも多くあるが、福島は避難区域の見直し、今後、避難区域の解除の動きもあり、今後とも多くの課題を抱え、長期に見据えての支援も必要であろう。また、現地のニーズにも変化がある、当会は以下の課題に取り組む。

(1) 福島で生活されている方々の環境課題

福島で果敢に生活をされている方がいる、その中で放射能への不安を抱えた環境がある、子供さん達が通う通学路などにも多くの“ホットスポット”が点在する。

その環境を少しではあるが、改善へのお手伝いが必要と考える【継続課題】。

但し、本活動は現地ニーズ・受入れ先があり、活動を進めてきている。

今後の現地ニーズにより、活動の判断をして行く。

(2) 現地、応急仮設住宅・見直し仮設住宅などの課題

福島県の方々の環境は依然として変わらない、長期な応急仮設住宅・見直し仮設住宅などでの生活、先の見えない不安、それぞれの方の環境は様々【継続課題】。

さらに、孤独死・自殺が多くなってきているとも伺った【長期的な生活による課題】。

また、今後復興住宅も計画されているが、新たなコミュニティ作りの難しさもあると伺った【新たに発生するであろう課題】。

当会は、今まで仮設などでのお手伝いは、既に多くの支援団体が入っていることより行ってきていない、また現時点で何を目的にするのかの課題もあり、現時点で早急な取り組みは出来ないが、福島に長く関わることは必要である【継続課題】。情報収集・情報発信など、福島と関わりを続けて行く。

(3) 警戒区域の見直しへの課題

福島第一原子力発電所から 20 キロメートル圏内にある南相馬市小高区では、原発事故直後から住民の立ち入りが制限され、2013 年 4 月に避難区域の見直しにより立ち入りの制限が解除となった。また 2 年後の平成 28 年には避難区域解除の計画となる。

平成 25 年度に、現地ニーズによる家屋内の片づけ・復興への家屋周りの片づけをさせて頂いたが、今後とも同様のニーズが継続【継続課題】してあるものと思われる。

(4) 神奈川県内（関東近県）への避難を余儀なくされている方々の環境課題

昨年度の継続。神奈川県に福島から多くの方々が避難を余儀なくされている、孤独に陥ることなく、また、避難されている方々の主体的なコミュニティ作り（人と人、人と町）が未実現である。継続される大きな課題【継続課題】をとらえる。

尚、本件は「かながわ避難者と共にあゆむ会」と共に共催・協力し進めて行く。

当会は、その活動への参加・協力、活動資金の一部の拠出（拠出金）を以って活動を進めて行く。

2. 活動方針

私達はボランティアである。

- ・活動できる場所であることの判断（安全判断）
- ・活動する上で必要とする知識（安全知識）
- ・活動する上での現地受け入れ団体の長との情報交換（安全の担保）

を行い、活動を進める。

また、現地との情報交換も行い、現地のニーズにて活動を進める。

活動の為のニーズ作りは行わない。但し、現地との関わりは長く続けて行きたい。

3. 活動目的

(1) 福島で生活されている方々の環境課題へ （直接活動①）

現地活動団体の受入に参加し

- ①神奈川から（含む関東圏内の参加者）その環境の改善へ少しでもお手伝いをする。
- ②参加者が参加することにより福島の今を知って頂く。
- ③現地福島の復興の応援として、帰路、福島の名産の買い物。
- ④夕食は福島駅東口の「かーちゃんふるさと農園わいわい（一般社団法人ふくしまかーちゃんの力ネットワーク）」の弁当を購入して応援など。
- ⑤4月は登録会員限定で福島市の花見山公園への花見を行い、観光応援をする。
- ⑥平成26年度は現地環境の変化もあり、ニーズを確認しながら進める（重要）。

(2) 現地、応急仮設住宅・見直し仮設住宅などの課題へ （直接活動②）

現地福島へ関わらなければ見えてこない現実、ニーズがある。

当会は先の通り、仮設住宅への支援は行ってきていない、今後とも当会として何が出来るか、現地ニーズとして必要とされることを、現地に関わりながら、(1)の活動と並行して、仮設住宅などでの支援の在り方を探る。

- ①関わり続ける事

②関わり方 を探る。

③その為に、福島訪問を毎月1回計画して行く。予算化する。【新しい取り組み】

※地元の活動団体、仮設住宅の自治会さんなどと関わりを持ち進めて行く。

(3) 警戒区域の見直しへの課題へ (直接活動③)

既に日中は住民の立ち入りの制限解除がなされている (小高地区)。

①家屋内外の片づけニーズを行う。

②参加者が参加することにより福島の今を知って頂く。

③帰路、南相馬道の駅、安達太良SAなどで福島の名産の買い物などの応援をする。

(4) 神奈川県内 (関東近県) への避難を余儀なくされている方々の環境課題へ (県内支援)

当会は、現地福島に行き、直接福島で応援することを主体とした活動であるが、神奈川県内にも多くの方が避難されている。当会のマンパワーとしての体力もあり、本課題は「かながわ避難者と共にあゆむ会」の活動を通して (代表 渡辺孝彦は本会の副代表) 県内支援活動を進める。(一部、共催・協力として活動資金を拠出し進める)

①具体的に、避難者の方々同志のネットワーク作りのお手伝いをして行く。

(5) 情報発信 (情報発信)

①当会の活動を通してHPにて、福島の情報発信する。

②「かながわ避難者と共にあゆむ会」の活動を通して、講演会なども行い情報発信する。

4. 全体事業計画（概要）

全体を「福島の応援事業（直接活動・県内支援・情報発信）」とし、以下の活動（事業詳細）を行う。

事業詳細		計画
事業1	直接活動① (福島バス)	4月、6月便を計画とし、以降は現地ニーズを確認し、進める。 【予算は4月、6月便のみを計上する。変更は追加で組み込む】
事業2	直接活動② (仮設住宅)	毎月1回福島の子協・地元支援団体・応急仮設住宅の自治会などを訪問し、現地情報を取り込む。 【予算は福島訪問n便として計上する】
事業3	直接活動③ (南相馬バス)	毎月1回福島にボランティアバスを出す。 【予算は福島n便（南相馬n号）として毎月計上する】
事業4	県内支援① (交流会)	あゆむ会と共催・協力により、コミュニティ作りを応援する。 【予算は拠出金として上期・下期で計上する】
事業5	情報発信	都度活動情報をHPで発信する（予算不要） 講演などはあゆむ会と共催・協力で進める。 【予算は拠出金として上期・下期で計上する】
事業6	その他活動	現地訪問、事業2とは別に情報交換を目的として現地地訪問を計画する。【予算は現地訪問費として計上する】
		セミナーなど参加
		その他

4. 役員・スタッフ

役割	区分	氏名	担当役割
代表	役員	渡辺 孝彦	兼務（会計、渉外）
広報	役員	東 尚子	兼務（県内支援担当、あゆむ会広報）
バス	役員	戸沢 正弘	バス運営
情報	役員	村上 幸	情報収集
事務	役員	山下 圭子	事務管理（参加者名簿、座席表など）
相談役	役員	山内 淳、御園生 芳行	相談事項
全体支援	非役員	5名	バス支援、県内支援の全てを行う
バス支援	非役員	1名	バス支援を行う
県内支援	非役員	4名	県内支援を行う

5. 事業詳細

(1) 事業 1

①現地課題

福島には、子供たちが通う通学路などを含めて、ホットスポットが潜在する
 少しでも安心して生活が出来る環境を取り戻す必要がある。

②活動目的

- ・少しでも安心して生活が出来る環境を取り戻す為、街中掃除に参加する。
- ・ボランティアバスで一人でも多くの方と福島に行き、福島の今を知ってもらう。
- ・福島の名産を帰路購入し、福島の復興を応援する。
- ・活動報告などにより、福島の情報を発信する。

③活動計画

計画	計画	実績	実績	
				回数
4月	福島 35 便 (花見山公園 2 号)			
6月	福島 38 便 (福島 23 号)			
—	—			

※当初、毎月 1 便を見込んでいたが、現地受け入れ先の環境の変化もあり
 4 月は花見山公園の花見、6 月に活動便を計画とし、以降状況に応じて対応とする。

④活動予算

(単位：円)

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
参加費	246,500		バス代	237,600	
寄付繰越	39,182		高速代	27,650	
—	0		仮眠所代	10,000	
—	0		残留費	10,000	
—	0		振込手数料	432	
合計	285,682		合計	285,682	

(2) 事業2

①現地課題

東日本大震災以来3年の避難生活が続けられている。

当初からの不慣れな仮設住宅での生活に加え

- ・避難生活の長期化により孤独死、自殺が増えてきていると聞く
- ・復興住宅の建設が進む、新たなコミュニティ作りが、新たな課題となる。
- ・震災以来3年が経ち、風化がさらに加速する。

②活動目的

当会は、当初より仮設住宅などの支援は行っていない、平成26年度の活動を通し福島に関わり続けることを目的として、何が出来るか、何が必要とされるかを確認し、次年度活動へとつなげる【新たな取り組み】。

③活動計画

計画	計画	実績	実績	
				回数
5月	福島訪問1便			
6月	福島訪問2便			
7月	福島訪問3便			
8月	福島訪問4便			
9月	福島訪問5便			
10月	福島訪問6便			
11月	福島訪問7便			
12月	福島訪問8便			
1月	福島訪問9便			
2月	福島訪問10便			
3月	福島訪問11便			

④活動予算 (単位:円)

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
参加費	299,200		高速代	94,270	
寄付繰越	146,070		ガソリン代	99,000	
支援金2	100,000		宿泊費用	352,000	
合計	545,270		合計	545,270	

(3) 事業3

①現地課題

平成 28 年度の避難区域解除に向け、長年手入れが出来ていなかった、家屋・家屋周りの片づけのニーズが増える、またの活動マンパワーが必要とされる。

②活動目的

現地が必要とするニーズに、今年度も答えて行く。

- ・家屋・家屋周りの片づけニーズのお手伝いをする
- ・一人でも多くの方に参加して頂き、福島の今を知って頂く。
- ・活動を通じて、福島の情報発信する。福島の今を伝える。
- ・行き来のサービスエリア・道の駅などで福島の名産を購入し復興の応援をする。

③活動計画

計画	計画	実績	実績	
				回数
4月	福島 36 便 (南相馬 11 号)			
5月	福島 37 便 (南相馬 12 号)			
6月	福島 39 便 (南相馬 13 号)			
7月	福島 40 便 (南相馬 14 号)			
8月	福島 41 便 (南相馬 15 号)			
9月	福島 42 便 (南相馬 16 号)			
10月	福島 43 便 (南相馬 17 号)			
11月	福島 44 便 (南相馬 18 号)			
12月	福島 45 便 (南相馬 19 号)			
1月	欠便 (冬季に付き)			
2月	福島 46 便 (南相馬 20 号)			
3月	福島 47 便 (南相馬 21 号)			

④活動予算 (単位:円)

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
参加費	1,421,200		バス代	1,306,800	
寄付繰越	99,276		高速代	146,300	
支援金1	100,000		レンタカー代	165,000	
—	0		振込手数料	2,376	
合計	1,620,476		合計	1,620,476	

(4) 事業4

①現地課題

神奈川に多くの方が避難生活をされている、今なおコミュニティが分断されている。人と人、人と町のつながりのコミュニティ作りが必要と思われる。

②活動目的

コミュニティ作りが必要かは避難されている方が主体となり判断されることである
 その上で、必要とされるとき、そのお手伝いをさせて頂く。

- ・人と人、人と町が集える場所の提供・お手伝いをする。
- ・コミュニティ作りが必要とされるとき、そのお手伝いをさせて頂く。

③活動計画

計画	計画	実績	実績	
				回数
上期	おちゃっこ			
	町別交流会			
	ふるさとバス			
	ふるコミ※6			
下期	おちゃっこ			
	町別交流会			
	ふるさとバス			
	ふるコミ※6			

④活動予算 (単位：円)

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
寄付繰越	20,000		あゆむ会拠出金	70,000	
支援金2	50,000		—	0	
合計	70,000		合計	70,000	

⑤補足

県内避難者支援は「かながわ避難者と共にあゆむ会」と共催・協力で活動を進める。

(5) 事業5

①現地課題

- ・風評被害、福島の産物・地への不安が今なお続く
- ・復旧、復旧すらまだ進んでいない現実があることを多くの方が知らない。
- ・風化、復興が叫ばれ、今なおある現実を多くの方が知らない。

②活動目的

- ・福島応援バスの活動を通して、HPなどで福島の今を伝えて行く
- ・講演会なども開き福島の情報発信をする

③活動計画

計画	計画	実績	実績	
				回数
上期	情報発信 1			
下期	情報発信 2			

④活動予算

(単位：円)

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
寄付繰越	10,000		あゆむ会拠出金	60,000	
支援金 2	50,000		—	0	
合計	60,000		合計	60,000	

⑤補足

講演会などは「かながわ避難者と共にあゆむ会」と共催・協力で活動を進める。

(6) 事業6 (その他活動、会の維持管理)

①現地課題

福島情報は現地に行かないと中々分からない

事業2も含めて、平日に現地の社協・行政への訪問も行い、情報交換を図る必要がある。

②活動目的

- ・ 現地、社協と情報の交換を行う (平日)
- ・ 現地、行政と情報の交換を行う (平日)
- ・ 現地、支援団体と情報の交換を行う (平日)
- ・ 他、会の維持管理

③活動計画

計画	計画	実績	実績	
				回数
通期	現地訪問 (3回)			

④活動予算

(単位：円)

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
会費繰越	39,529		現地訪問費	36,735	
			印刷費	2,794	
寄付繰越	83,265		現地訪問費	83,265	
新規会費	50,000		印刷費	17,206	
			キャビネ費	1,280	
			チラシ作製	3,000	
			消耗品費	2,000	
			通信費	10,000	
			雑費	16,514	
新規寄付	60,000		現地訪問費	30,000	
			寄付活動	30,000	
合計	232,794		合計	232,794	

(7) 事業予算総計

(単位：円)

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
会費(口)繰越	39,529		事業 1	285,682	
寄付(口)繰越	397,793		(内寄付繰越	39,182)	
新規会費	50,000		事業 2	545,270	
新規寄付	60,000		(内寄付繰越	146,070)	
支援金 1	100,000		(内支援金 2	100,000)	
支援金 2	200,000		事業 3	1,620,476	
事業 1 参加費	246,500		(内寄付繰越	99,276)	
事業 2 参加費	299,200		(内支援金 1	100,000)	
事業 3 参加費	1,421,200		事業 4	70,000	
			(内寄付繰越	20,000)	
			(内支援金 2	50,000)	
			事業 5	60,000	
			(内寄付繰越	10,000)	
			(内支援金 2	50,000)	
			事業 6	232,794	
			(現地訪問	150,000)	
			(印刷費	20,000)	
			(キャビネ費	1,280)	
			(チラシ作製費	3,000)	
			(消耗品費	2,000)	
			(通信費	10,000)	
			(寄付活動費	30,000)	
			(線量計保守費	0)	
			(雑費	16,514)	
合計	2,814,222		合計	2,814,222	

6. 最後に

当会は、平成26年度も粛々と活動を進めます。

当会は、現地の福島に行き直接に福島の応援をします。
福島の皆さん、福島の子供さん達が明るく元気に遊んでいる、そんな今までの福島であることを願い活動を進めます。

さらに、神奈川県内に避難せざるをえない皆さんの少しでもお手伝いが出来れば
私達は避難されている皆さんから見たら、何にもわかっていない、わかっていないかも知れませんが、すこしでもお気持ちに近づき、お手伝いをさせて頂ければ、の想いです。

福島は、浜通り、中通り、会津地方があり、同じ課題、違う課題が存在しますが、思うところは同じと思います。

現在置かれている環境は、福島の皆さんの想いではなく、そうさせられてしまったもの

- ・同じ県内での分断（浜通り、中通り、会津地方、町、ご近所、ご家族・・・）
- ・県内と県外での分断（福島県と他県・・・）
- ・県外での分断（強制避難・自主避難・・・）

違う想いではなく、同じ思いへ進みたいと思います。

そして、子供たちは、街の未来の宝、市の未来の宝、県の未来の宝、国の未来の宝です。
その子供たちが福島県の未来を担うと思います。

活動の仕方はそれぞれにありますが

未来の宝、子供たちの安心安全を願うのは同じ想いと思います。

また、実際に、現地に行くことにより、県内に避難されています方々と触れることにより分かる事柄が沢山あります。その一つでも知って・感じて頂きたいとも思います。

私達は、いつか心から笑える日が来ることを願い、参加者の皆さんと活動を続けて行くこと
と思います。

福島の応援を続けます、これからもよろしくお願い申し上げます。

2014年3月31日
かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
代表 なべ（渡辺孝彦）
スタッフ一同

Ⅲ. 補足資料

1. 活動の様子

HPをご参照ください。

【 <http://kfp.jimdo.com/活動様子/> 】

2. 活動日程 (計画)

【2014年度上期】

凡例 (便：ボラバス、**00**：定例会、**00**：交流会+定例会、**交**：コミュニティ)

4月							5月							6月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6				1	2	3	4							1
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
28	29	30					26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
														30				31		
7月							8月							9月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6					1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	31	29	30					

【2014年度下期】

10月							11月							12月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5						1	2	1	2	3	4	5	6	7
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	29	30	31				
1月							2月							3月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4							1							1
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	2	3	4	5	6	7	8
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	9	10	11	12	13	14	15
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	16	17	18	19	20	21	22
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28		23	24	25	26	27	28	29
														30	31					

保護ページ